

U字型テーブルスケール 2トン (コンパクト) 取扱説明書

【品番】 UTS-2

この度は、KIKAIYA「U時型テーブルスケール 2トン」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- *この取扱説明書は、商品の正しい使い方やメンテナンス方法、使用上の注意について記載しております。
- *本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく取り付し、お使いください。
- *本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(TEL) 084-982-5884

(FAX) 084-982-5886

(MAIL) info@kikaiya.com MADE IN CHINA

■ 調査及び修理をご依頼の前に

* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

■ 開封時

開封したらずぐに中身を確認してください。

付属品の欠品、破損等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身をご確認ください

■ 注意事項

1. 本体は腐食性のガスや高い湿度の環境には適しません。
2. 重量を測定する場合は、変荷重とならない様に荷物を置き測定してください。
3. 故障の原因となりますので、スケールの最大能力以上の荷重をかけないでください。
4. 使用する人は必ずこの取扱説明書を読み理解の上ご使用ください。
5. 実際にご使用前には、何度か繰り返し使用を試し慣れてからご使用ください。
6. ご自身でのメンテナンス・分解整備は決してしないでください。必ず販売店にお問合せください。
7. 温度は-10~50℃の場所で使用する。湿度は85%以下で使用する。
8. 水気・降雨の場所では絶対に使用しないでください。
9. 本体から離れる場合は必ず電源を切ってください。

■ 据付け方法

平らで硬い場所で使用してください。

設置方法

1. 表示器と本体、ACアダプターを繋ぐ。(RS-232C と記入してある配線は繋がらない)
2. 本体裏側に付属のアジャスターを取り付けて、水平に保つように調整し硬い土間の上で使用してください。
3. 本体と表示器の間は約5m以内とし、ケーブルの長さを増す事はしないでください。
4. 本体に付属しているU型の持ち手を取り付けてください。

■ 表示器について

1. 表示器と本体の接続ケーブルをソケットに挿入してください。
2. 本体と表示器の間の距離は5m以内としてください。
3. 表示器はバッテリー内蔵で、充電すれば電源の無い所でも使用できます。(連続使用約20時間)
4. LED表示により、暗い所や離れた場所からも抜群の視認性、表示器はブラケット付きで壁や天井等にも取付けできます。

■ 本体の移動について

移動の場合は下記の様にして移動させてください。

1. 表示器の電源を切ります。
2. 表示器と本体の接続ケーブルを離します。
3. ハンドルを持ち、およそ30度の角度で本体を持ち上げ引いて動かしてください。
4. (ローラーが付いているので簡単に移動ができます)
5. 立てかけて収納する事も可能です。

■ 一般のトラブルについて

- 表示器が何も表示しません *
 - ・ 表示器のヒューズがダメージを受けていないか確認してください。
 - ・ 接続ケーブルが正常につながれるかどうか調べてください。
- 表示器がスタートしたらセルフチェックする *
 - ・ スケールの下に何か引っかかっているか確認する。
 - ・ 読み込みランプがスケールに触れていないか確認する。
 - ・ 接合ボックスとワイヤーの間の接続を確認し、ワイヤープラグと表示器が正常か確認する。
 - ・ ワイヤーが劣化や湿気などの影響を受けていないか確認する。

■ 基本的機能について

最大許容荷重	2000kg
目 量	1.0kg/切替え時0.1kg
電 源	AC100V(AC/DCアダプター)
バッテリー残量	・バッテリーが少なくなるとバッテリー残量のランプが点灯します。 ・満充電で約20時間使用可能
リセットの仕方	リセットする時は【→0←】キーを押す
ポンド計量の仕方	この機械はポンドで計測する事も可能です。その場合は【*】キーを長押しすると、ブザー音がします。 音が鳴ったら手を離し画面表示の左上『lb』に『-』の横線のライトが付いていたらポンド計測可能です。 リセットする場合は【*】キーをもう一度長押しすると通常の計測に戻ります。
オート設定について	オート設定は一度設定すると解除されない為、別の測定をする場合はオート設定が何になっているのかご確認ください。(正確な測定ができない為) 【*】を押し『AUT 』と表示された時の数字が設定内容です。 【↑】キーで設定を変更可能。変更したら、【*】キーで確定してください。 ・通常の重量を測定する場合は『AUT 0』です。 ・重量メモリー機能の場合は・・・自動『AUT 2』* 手動『AUT 4』です。 ・荷物のピーク時測定の場合は『AUT 6』です。

■使用方法について

* 通常の重量を量る場合 *

順番	操 作	表 示 器	内 容
1	【ON】押す	自己診断開始 『0』 『0 』~『 9』	電源を切った状態で、【ON】のボタンを押すと電源が入ります。 自動的にデジタル表示のチェックが始まり、0に戻ります。(0に戻ると通常測定準備OKです)
2	その後、量りたい物を本体の上に乗せて重さを量る。		

* 風袋引き機能* (重量が20kg以上の物を測定する場合)

◆測定前に指定の重量を引いておく方法／引きたい荷物の重量が分かっている場合

順番	操 作	表 示 器	内 容
1	【ON】押す	自己診断開始 『0』 『0 』『 9』	電源を切った状態で、【→0←】のキーと【ON】のボタンを押すと電源が入ります。 自動的にデジタル表示のチェックが始まり、0に戻ります。(0に戻ると通常測定準備OKです)
2	【→】押す	『0000000』	『00000』と表示される。 1秒で『 0』になってしまったら、また【→】押す。
3	【→】押す	『0000000』	引きたい重量の数字の場所まで→で移動させる。 【↑】で数量を変える事ができる。 (例)『000100』と入力する
4	【→0←】押す	『 -100』	前項で入力した数字がマイナス表示で表示される。(例)『 -100』と表示される。 その後量りたい荷物を載せて重量を量る。

風袋引きを解除したい時

1	【→0←】押す	『 0』	風袋引きを解除したら『 0』に戻る。
---	---------	------	--------------------

◆荷物を載せ、その荷物の重量を引く場合。

(例)初めにパレットだけを載せてその重量を引く、その後その上に荷物を載せて重量を量る場合。

順番	操 作	表 示 器	内 容
1	【ON】押す	自己診断開始 『0』 『0 』『 9』	電源を切った状態で、【→0←】のキーと【ON】のボタンを押すと電源が入ります。 自動的にデジタル表示のチェックが始まり、0に戻ります。(0に戻ると通常測定準備OKです)
2	『重量が表示される』		※重量を引きたい物を載せる。(例)パレット
3	【→0←】押す	『……』	・その荷物の重量を引く。(例)パレット
4	『重量が表示される』		・その後、実際に量りたい荷物を本体に載せる。 * 荷物を本体から降ろすと、【→0←】で引いた重量分だけマイナス表示となる。

風袋引きを解除したい時

1	【→0←】押す	『 0』	風袋引きを解除したら『 0』に戻る。
---	---------	------	--------------------

*** 重量を自動で記憶させる機能 * メモリー機能 (20kg以上の重量を測定する場合)**

順番	操 作	表 示 器	内 容
1	【ON】押す	自己診断開始 『0』 『 0』『 9』	電源を切った状態で、【ON】のボタンを押すと電源が入ります。 自動的にデジタル表示のチェックが始まり、0に戻ります。 (0に戻ると通常測定準備OKです)
2	【*】×数回押す	『AUT 』	オート表示がでる。 AUTO の所に▼マークが付く。
3	【↑】×数回押す	『AUT 2』	2の表示が点滅するまで数回押す。
4	【*】押す	『 0』	0が表示される。(20kg以上の重量に限る) ① 量りたい物を本体の上に乗せる。→安定のマークが付く。→荷物を本体から降ろす。→機械が自動的に量った物の重さと回数を記憶する。→表示が0に戻る。 ② 次に量りたい物を本体に載せる。→上記内容を繰り返す。

合計重量を確認する場合

5	【*】押す	『n 1』(1回測定時)	数字は測定した回数がn... 1とか2とかと表示される。
6	【↑】押す	『L ...』	Lと表示されるまで数回押す。 Lが表示されると、それが合計重量です。

メモリーを消去したい時

1	【*】押す	『n 1』	n... 1と回数表示の時に【→0←】を押す。 メモリーを消去し、『 0』表示に戻る。
---	-------	-------	--

*** 重量を手動で記憶させる機能 * メモリー機能 (20kg以上の重量を測定する場合)**

順番	操 作	表 示 器	内 容
1	【ON】押す	自己診断開始 『0』 『 0』『 9』	電源を切った状態で、【→0←】のキーと【ON】のボタンを押すと電源が入ります。 自動的にデジタル表示のチェックが始まり、0に戻ります。 (0に戻ると通常測定準備OKです)
2	【*】×押す	『AUT 』	オート表示がでる。 AUTO の所に▼マークが付く。
3	【↑】×数回押す	『AUT 4』	4の表示が点滅するまで数回押す。
4	【*】押す	『 0』	0が表示される。(20kg以上の重量に限る) ① 量りたい物を本体の上に乗せる。→安定のマークが付く。→【∴】キーを押す→荷物を本体から降ろす。→機械が自動的に量った物の重さと回数を記憶する。(測定した重量が点滅する) ② 次に量りたい物を本体に載せる。→上記内容を繰り返す。

合計重量を確認する場合

5	【*】押す	『n 1』(1回測定時)	nで表示される数字は測定回数の事。
6	【↑】押す	『L ...』	Lと表示されるまで数回押す。 Lが表示されると、それが合計重量です。

メモリーを消去したい時

1	【*】押す	『n 1』	n... 1と回数表示の時に【→0←】を押す。 メモリーを消去し、『 0』表示に戻る。
---	-------	-------	--

* 荷物重量のピーク時を測定する機能 *

(一瞬の重さを測定したり、どんどん荷物を加算して測定する時に便利な機能)

順番	操 作	表 示 器	内 容
1	【ON】押す	自己診断開始 『0』 『 0』『 9』	電源を切った状態で、【ON】のボタンを押すと電源が入ります。 自動的にデジタル表示のチェックが始まり、0に戻ります。 (0に戻ると通常測定準備OKです)
2	【*】×押す	『AUT 』	オート表示がでる。 AUTO の所に▼マークが付く。
3	【↑】×数回押す	『AUT 6』	【↑】を数回押し『AUT 6』の表示を出す。
4	【*】押す	『 0』	0が表示される。(20kg以上の重量に限る) ③ 量りたい物を本体の上に乗せる。→荷物 of ピーク時の重量を測定する事が可能→安定のマークが付く。次に量りたい物を本体に載せる。→上記内容を繰り返す。 ※重量を測定中は荷物を機械から降ろしても、表示が0に戻る事はない。 (例)・どんどん荷物を加算して量っていく ・暴れる物や動物の測定

メモリーを消去したい時

1	【*】押す	『n 1』	n...1と回数表示の時に【→0←】を押す。 メモリーを消去し、『 0』表示に戻る。
---	-------	-------	---

■ キャリブレーション

スケールを使い続けていくと測定数値が大きくずれてくる事がございます。

測定結果が大きくずれてきた時はキャリブレーションを行って調整する事ができます。キャリブレーションを行うには、あらかじめ正確な重量が分かっているテストウエイト(よく測る重量に近い重さが良いです)が必要です。

キャリブレーションは下記の手順で行ってください。

- スケールに何も乗せない状態でゼロを押しながら電源をONします。
- 【※】を押します、ディスプレイにはCALSPを表示します
- 次に【→】を押します、ディスプレイにはCAL00 を表示します
- もう一度【※】を押すと-----を表示してゼロを表示すると
あらかじめ正確な重量の分かっている荷物またはテストウエイトをスケールに乗せます。
パレットも乗せる時はパレット重量をテストウエイトに加えてください。
- 次にメーターの矢印キーを操作してウエイトの重量を入力します、
重量を入力したならば【※】キーを押せばキャリブレーションは終了です。